

駅利用者アンケート調査結果概要

「JR行田駅前広場周辺再整備基本計画」を策定するにあたり、JR 行田駅利用者へのアンケート調査を実施した。アンケートの概要は以下の通りである。

【アンケート調査の概要】

調査対象 : 平成 26 年 7 月 16 日の JR 行田駅利用者到手渡し配布
 調査時期 : 平成 26 年 7 月 16 日～8 月 1 日
 配布数 : 588 票
 回収数 : 184 票(9/8(月)時点) ※回収率 31.3%

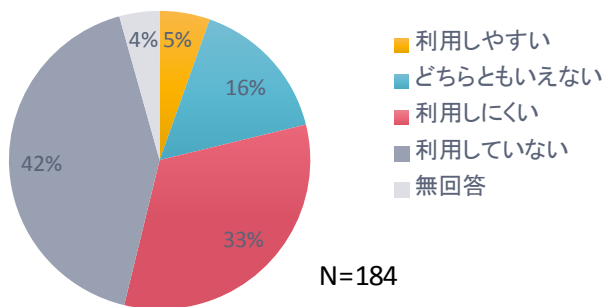
1. 駅前広場や周辺の施設の利用について

(1) バスやタクシーの利用について

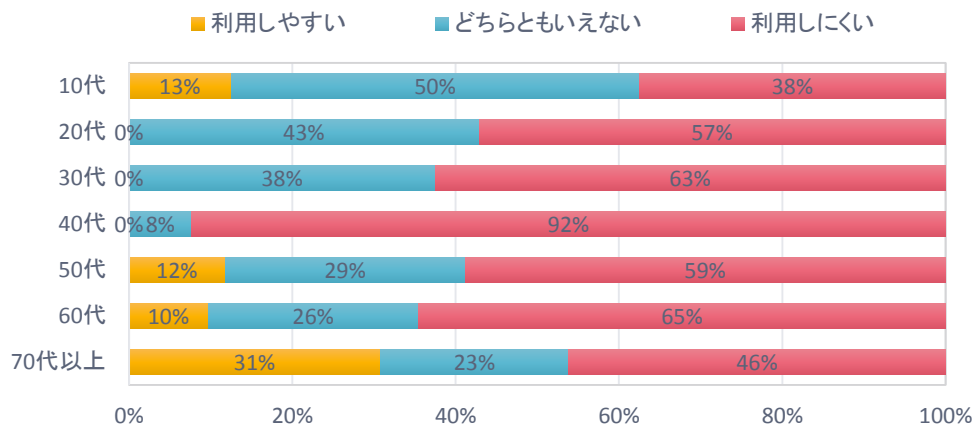
バスやタクシーを利用している人においては「利用しにくい」との回答が 33%である。問題点としては、「運行便数が少ない」との意見が最も多く、特に、古代蓮の里のシーズンには便数を増やしてほしいとの自由意見が複数あった。次いで「目的地や住んでいる地域への運行が少ない」、「タクシーの利用可能台数が少ない」との意見が多く、運行状況に関する課題が比較的多く挙げられた。

バスやタクシー利用者を年齢別にみると「利用しにくい」との回答が 40 代で 92%が最も多く、「利用しやすい」との回答は 20 代～40 代に無い。10 代と 70 代を除き、「利用しやすい」と「どちらともいえない」を合わせても「利用しにくい」との回答よりも少ないことから、年齢問わず多くの人がバスやタクシーを「利用しにくい」と感じていることがわかる。

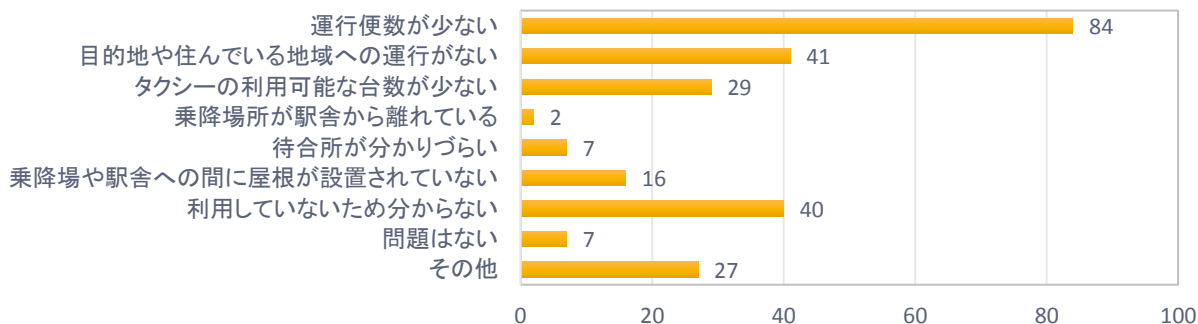
■バスやタクシーの利用について



■バスやタクシーの利用者（年齢別）



■どのようなことが問題だとお考えですか（複数回答）



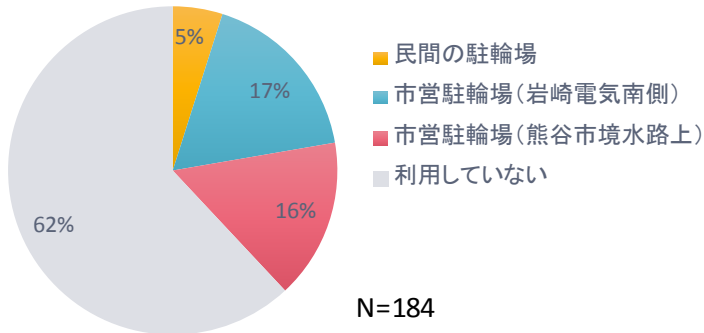
その他 主な回答

・ベンチがほしい	
・バスの運行本数を多くしてほしい	
・循環バスではなく目的地まで時間がかかる	
・雨のひどい日にタクシーを利用したかったが、待機車両がいなかった	
・電車の時間と合わないことが多い。長時間待つ場所がない(涼しい場所、お店等がほしい)	等

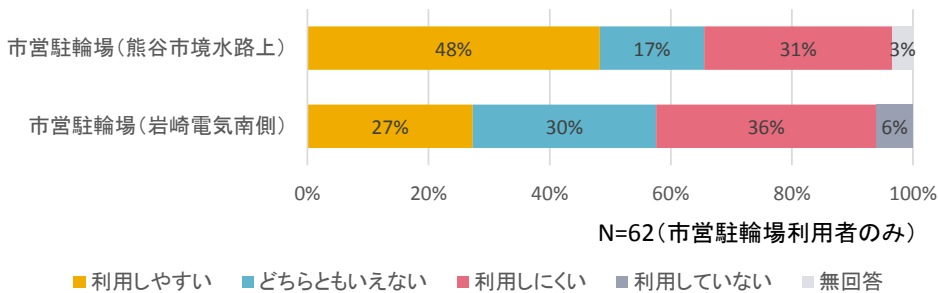
(2) 駐輪場の利用について

市営駐輪場の利用は 33%、岩崎電気南側と熊谷市境水路上に約半数ずつ分かれています。市営駐輪場を利用しにくいと感じている人は、岩崎電気南側で 36%、熊谷市境水路上で 31%であり、「駅舎から離れている」、「屋根が設置されていない」といった意見が多く、立地条件、利用環境、収容規模などが課題とされている。

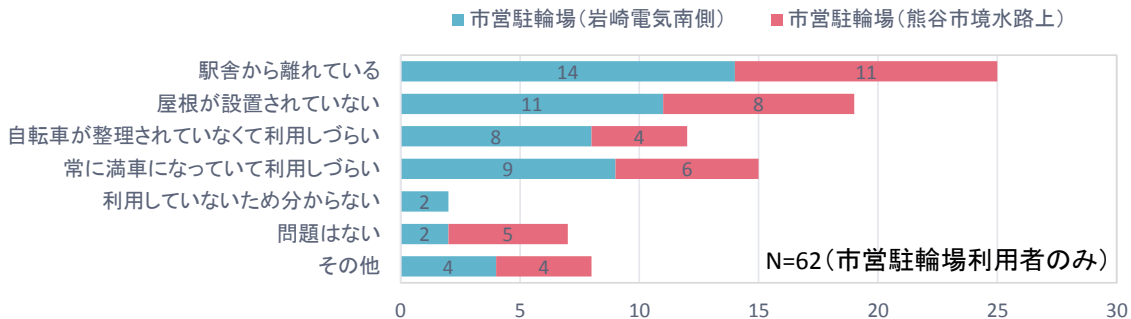
■主に利用されている駐輪場を教えてください



■市営駐輪場の利用しやすさ (利用駐輪場別)



■どのようなことが問題だとお考えですか



その他 主な回答

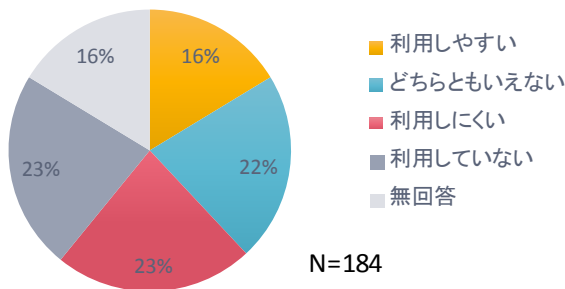
・係の方が自転車を整理しているが、間隔が狭く、帰る際に倒れることが多い	
・無料で利用できる方が良い	
・自転車の盗難がある	
・スペースが狭い	等

(3) 自動車での送迎利用について

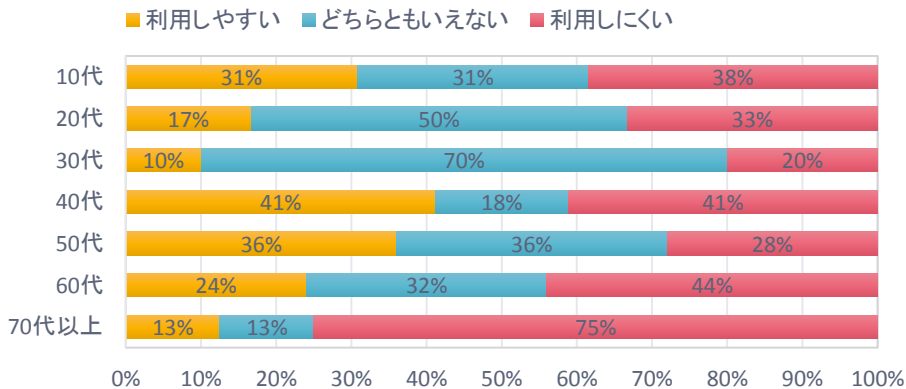
「利用しにくい」、「利用していない」が最も多い23%、「どちらともいえない」が22%、「利用しやすい」、無回答が最も少ない16%であった。問題点としては「駐車スペースが少ない・わかりづらい」「バスやタクシー、自動車が混雑し通行しづらい」「駅前広場への出入りがしづらい」との意見が多く、駅前広場内の導線を課題だとする意見が多い。

年齢別に見ると、「利用しにくい」「どちらともいえない」合わせて30代が90%で最も多く、次いで70代以上が88%となっている。どの年代においても「利用しやすい」との回答の割合は少ない。

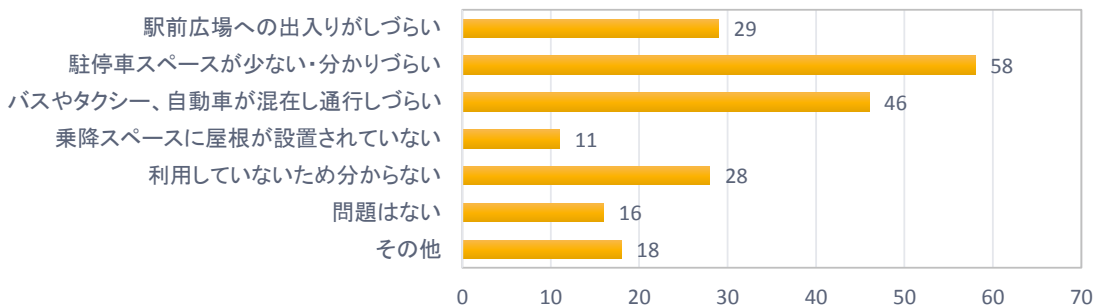
■自動車での送迎利用について



■自動車での送迎利用について（年齢別）



■どのようなことが問題だとお考えですか



その他 主な回答

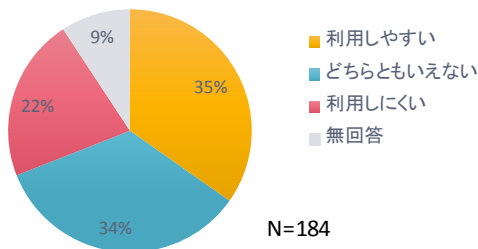
・待機(停車スペース)がもう少し欲しい。雨の日は混雑する。	
・ロータリーを横切る歩行者が多く危険	
・ハンディキャップエリアに一般車が停まっている	
・マイカー、バス、タクシーとの混在で事故への心配がある	
・乗降スペースの明確化が必要	等

(4) 駅前広場や周辺の歩道等の利用について

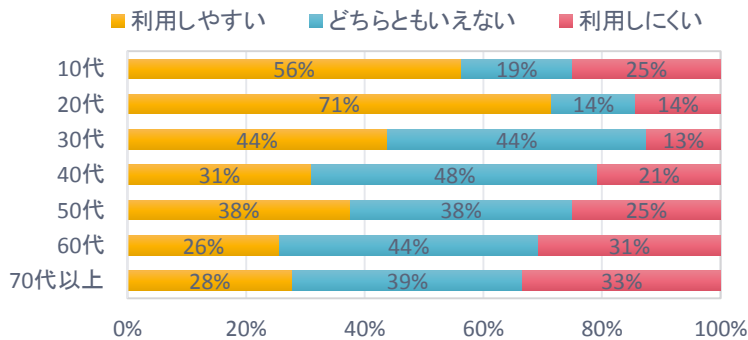
駅前広場や周辺の歩道等の利用では「利用しやすい」との回答が35%、「どちらともいえない」との回答が34%、「利用しにくい」との回答が最も少ない22%であった。利用環境について「問題はない」という意見が最も多いが「歩行者用信号がなく、道路横断などが危険である」「歩道や自転車が整備されていない」「歩道などに段差や痛みが多く、通行しづらい」といった意見も多く、歩道・自転車の利用環境改善が課題とされている。また、自由意見では駅前広場内の車両走行空間を歩行者が横断し危険との意見が多くあった。

また駅前広場や周辺の歩道等の利用について「利用しやすい」との回答は20代で71%と最も多く、次いで10代で56%となっている。「利用しにくい」との回答は30代で13%、20代で14%と少ないが、年代が上がるにつれて増えている。

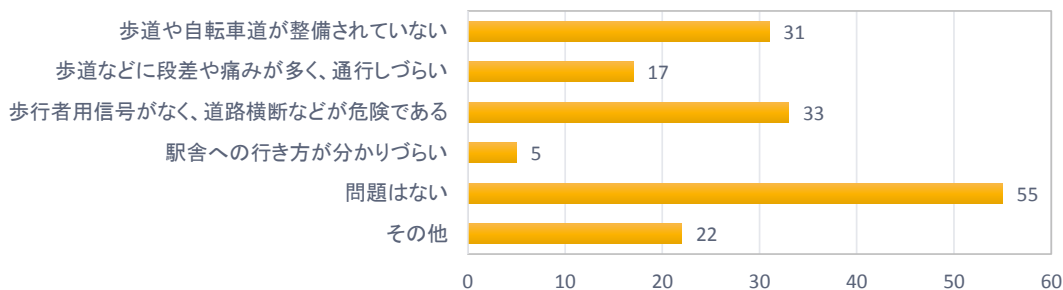
■ 駅前広場や周辺の歩道等の利用について



■ 駅前広場や周辺の歩道等の利用について（年齢別）



■ どのようなことが問題だとお考えですか



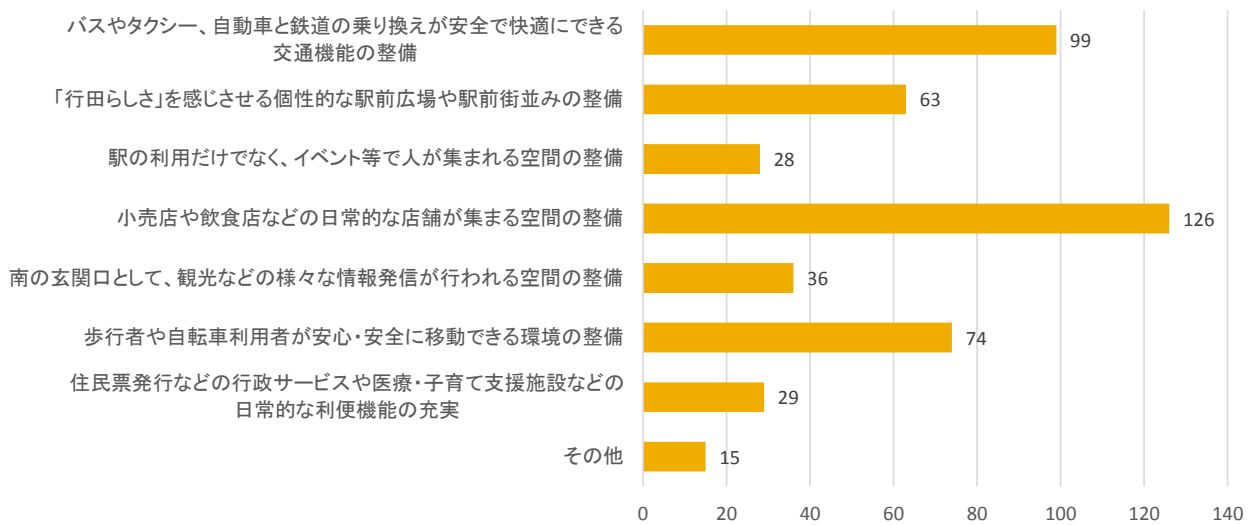
その他 主な回答

・街灯が少なく、暗くて危険	
・エスカレーターが欲しい	
・歩行者にロータリーを横断させない方法を考えて欲しい	
・郵便局付近の道の整備をして欲しい	等

2. 駅前広場や周辺の整備について

(1) JR 行田駅前広場及び周辺を整備していく上で、どのようなことを重視すべきと思われますか（主な3つ）

「小売店や飲食店などの日常的な店舗が集まる空間の整備」を重視する回答が最も多く、自由意見にも鉄道とバスや送迎車への乗り換え待ち時間に利用できる喫茶店等の整備を望む意見が多くあった。また、「バスやタクシー、自動車と鉄道の乗り換えが安全で快適にできる交通機能の整備」「歩行者や自転車利用者が安心・安全に移動できる環境の整備」との意見から、交通機能の整備、交通安全を考えた環境の整備などが課題として挙げられる。



その他 主な回答

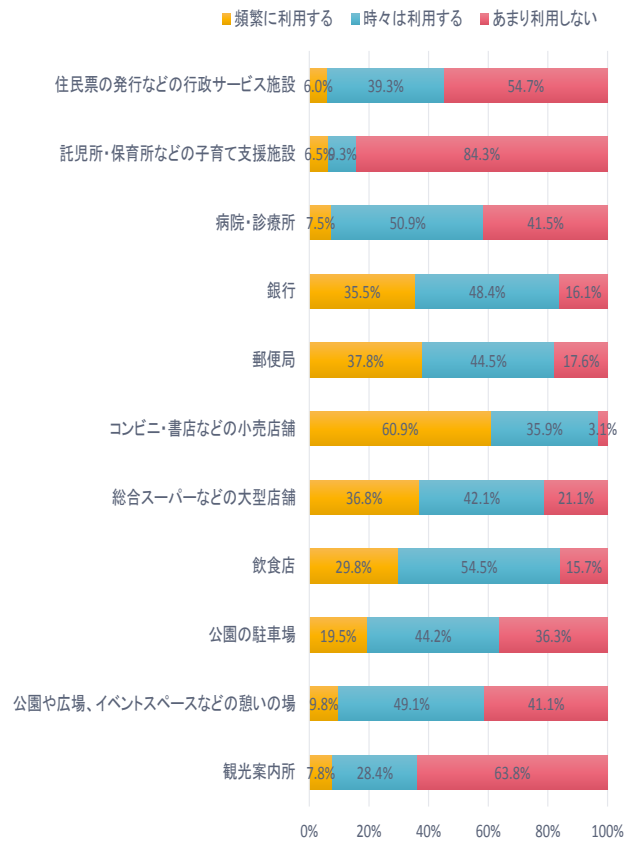
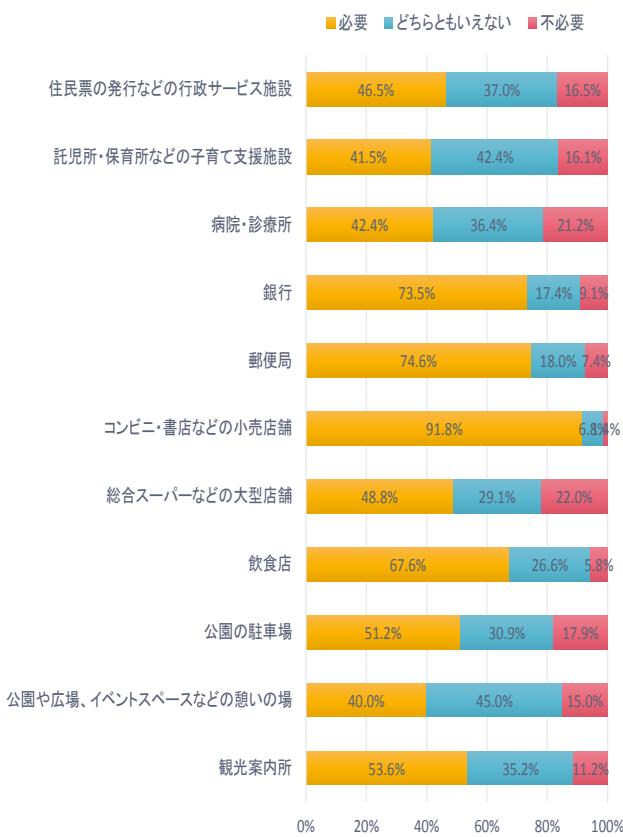
・コンビニや喫茶店などの整備	
・観光案内所の整備(いつも暗く機能していないように思われる)	
・屋外トイレ周辺の整備	
・花壇、樹木、清掃の行き届いた施設よりも環境を整えて欲しい	等

(2) 整備する上で、どのような施設（機能）を整備して欲しいですか。また、その施設が整備された場合、どの程度利用されますか

「コンビニ、書店などの小売店舗」の整備を必要とする回答が 92%と最も高く、次いで「郵便局」「銀行」「飲食店」の整備の必要性が高く、商業・業務施設整備が求められている。一方、それらの利用頻度では、「コンビニ、書店などの小売店舗」を頻繁に利用するとの回答は 61%に留まり、「郵便局」「銀行」「飲食店」では 40%を下回っている。また、行政サービスや子育て支援施設、病院、診療所、憩いの場については、必要性が比較的低く、利用頻度も少ない結果となっている。

■必要性

■利用頻度



その他 主な回答

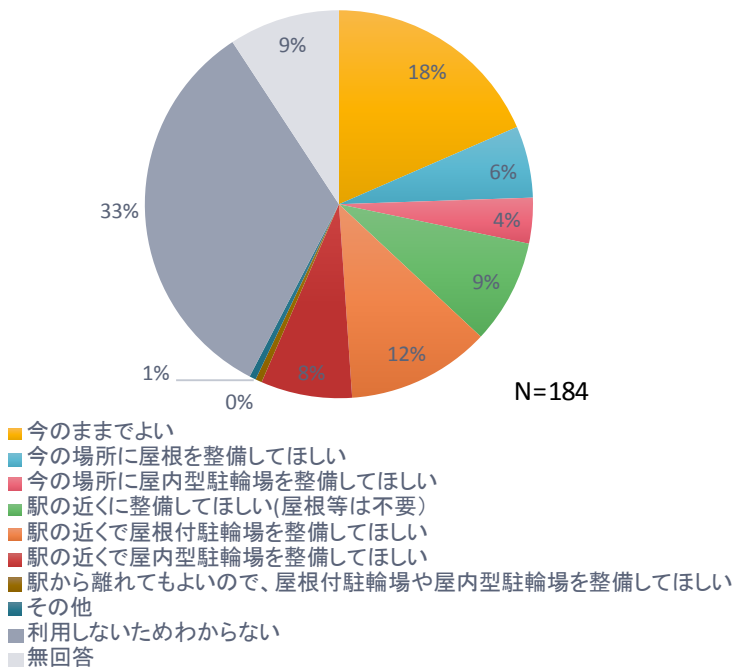
・お土産を購入できる店舗	
・スモーキングエリア	
・新たな乗降用ロータリー（来客を迎えるために駐車できるスペース）	等

(3) 市営駐輪場の整備についてどう思われますか

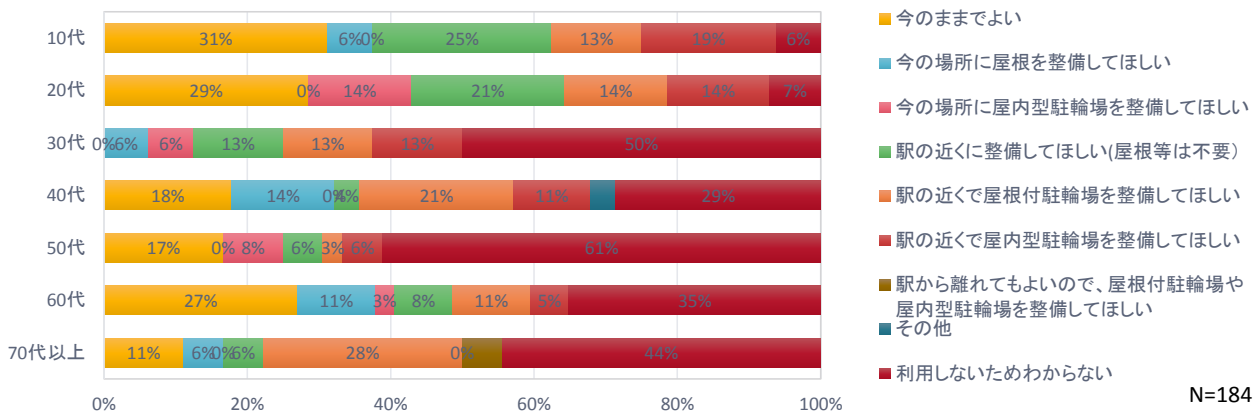
「今のままでよい」との回答が 18%と最も多い一方、「駅の近くで屋根付駐輪場を整備してほしい」「駅の近くに整備してほしい（屋根等は不要）」「駅の近くで屋内型駐輪場を整備してほしい」との回答を合わせると 29%となることから、駅の近くに市営駐輪場を整備すること（屋根等がある方が望ましい）が求められている。

また年齢別にみると、「駅の近くで屋内型駐輪場を整備してほしい」との回答が 50代で 60%と最も多く、30代以上のどの年代でもこの回答が多くを占めている。一方「今のままでよい」との回答は 10代、20代でおおよそ 3割である。

■市営駐輪場の整備についてどう思われますか



■市営駐輪場の整備についてどう思われますか（年齢別）



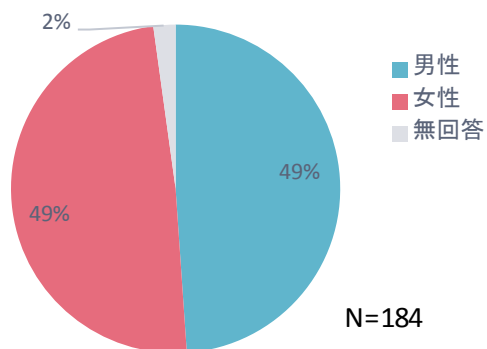
その他 主な回答

・店舗や外灯が少ないため暗くて見えづらく、物騒	
・駅の近くは常に満車で駅から遠い駐輪場に停めざるを得ないため、もう少し駅の近くに整備して欲しい	等

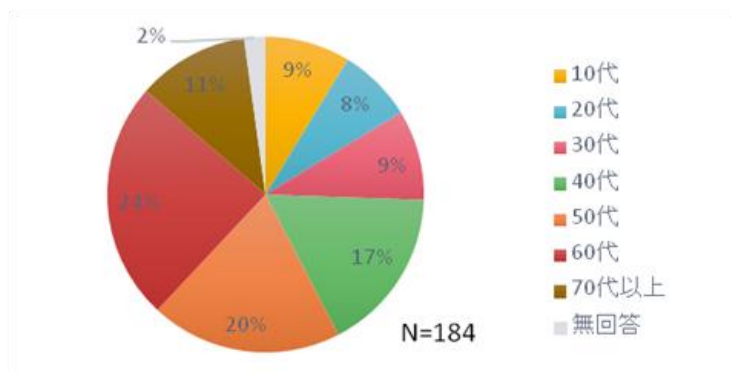
3. ご自身についておたずねします

今回アンケートに回答した人は男性女性半数ずつに分かれており、また年齢は60代の方が24%と最も多く、次いで50代が20%、40代が17%であった。

(1)：あなたの性別は

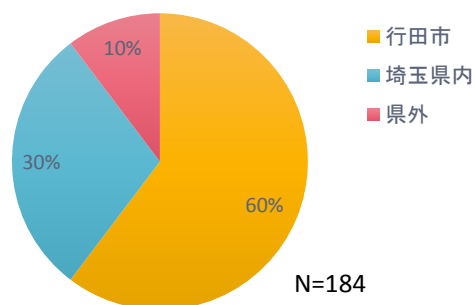


(2)：あなたの年齢は

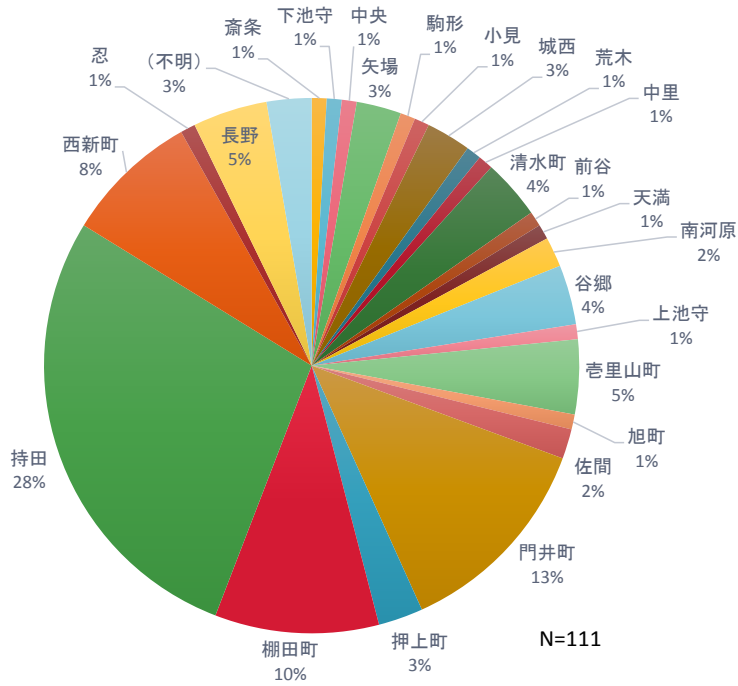


「行田市」に住んでいるとの回答が全体の半数以上を占め、「持田」が28%と最も多い。「埼玉県内」に住んでいるとの回答は30%であり、「熊谷市」が43%と最も多い。県外は10%であり、「東京都」に住んでいるとの回答が最も多い。

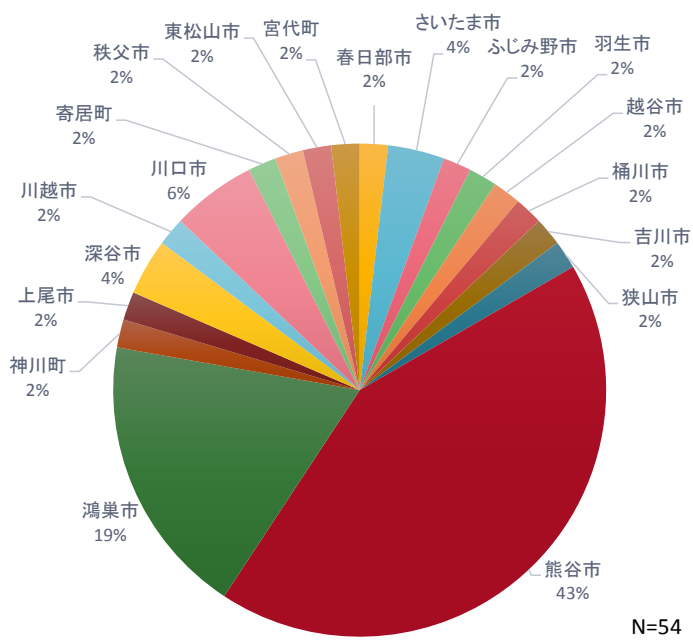
(3)：あなたのお住まいはどちらですか



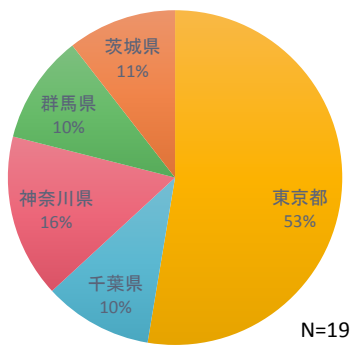
(行田市内構成比)



(埼玉県内構成比)



(県外構成比)



2. JR 行田駅の利用についておたずねします

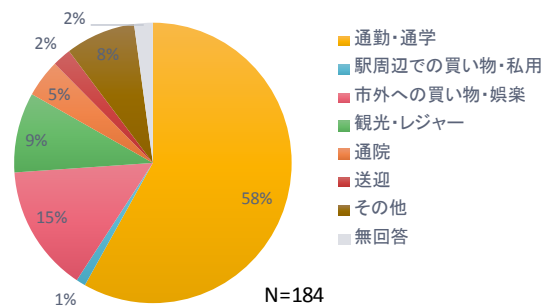
JR 行田駅の利用目的について、「通勤・通学」との回答が 58%と半数以上を占め、次いで「市外への買い物・娯楽」との回答が 15%であった。駅までの主な交通手段としては、徒歩または自転車が半数以上を占める。また、通勤・通学利用が多いことから、週 5 回以上利用する人が 44%と最も多い。

またそれぞれ年齢別で見ると、アンケートに回答した 10 代の全ての人が「通勤・通学」で利用しており、70 代以上の方は「市外への買い物・娯楽」が 38%と最も多い。

駅までの主な交通手段においては、「自転車」が 10 代で 88%、20 代で 57%となっており、30 代以上の年代になると「徒歩」が主な手段となることがわかる。

駅の利用頻度においては「週 5 回以上」との回答が 10 代で 94%と最も多く、次いで 20 代が 64%と年代が上がるにつれて利用頻度が減少している。

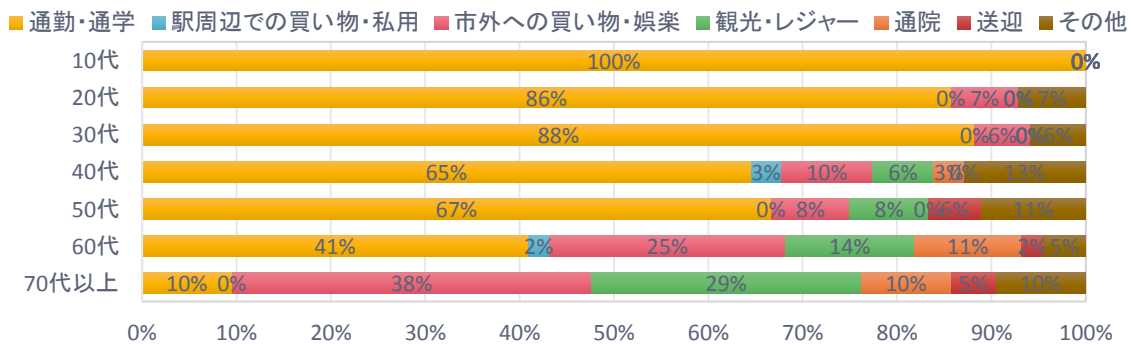
(1) : 主な利用目的は何ですか



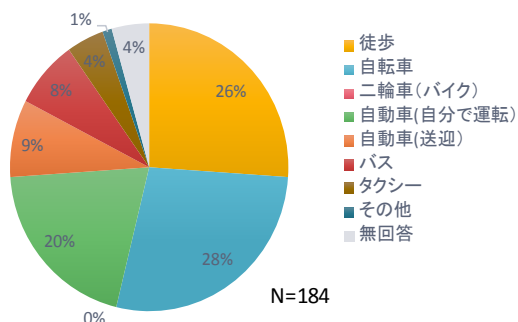
その他 主な回答

・ビジネス	
・里帰り	
・ボランティアへ行くため	
・試験、習いごと	等

■利用目的 (年齢別)



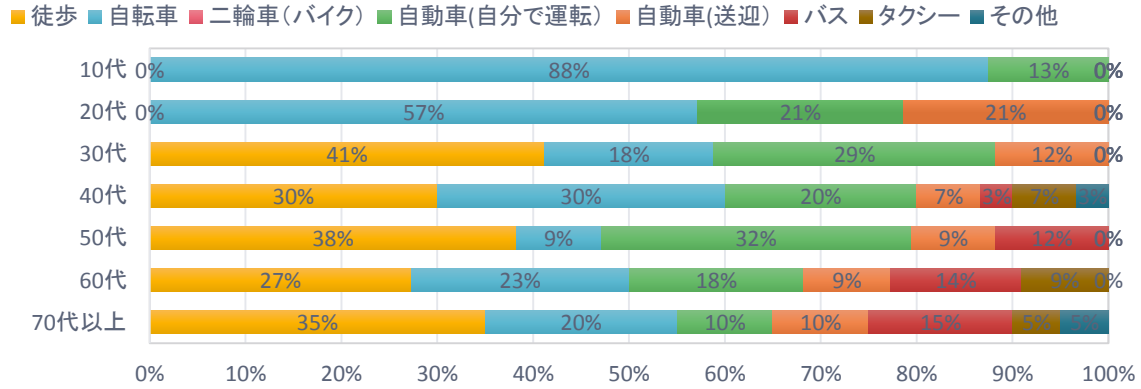
(2) : 駅までの主な交通手段は何ですか



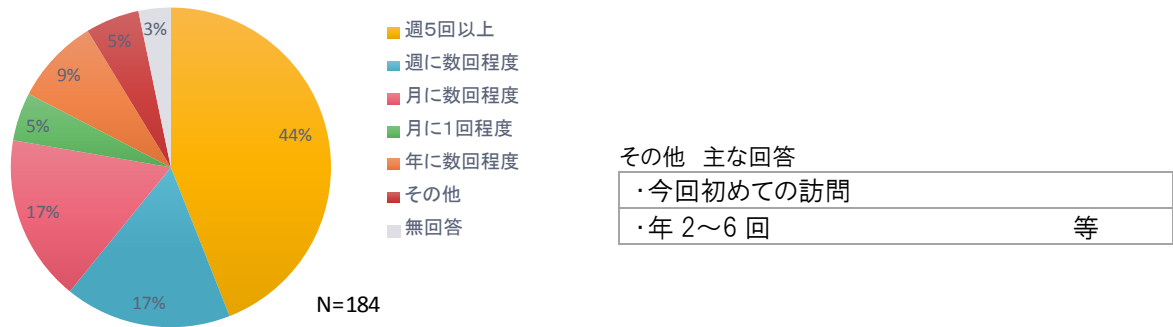
その他 主な回答

・レンタサイクル	
・JR 高崎線	等

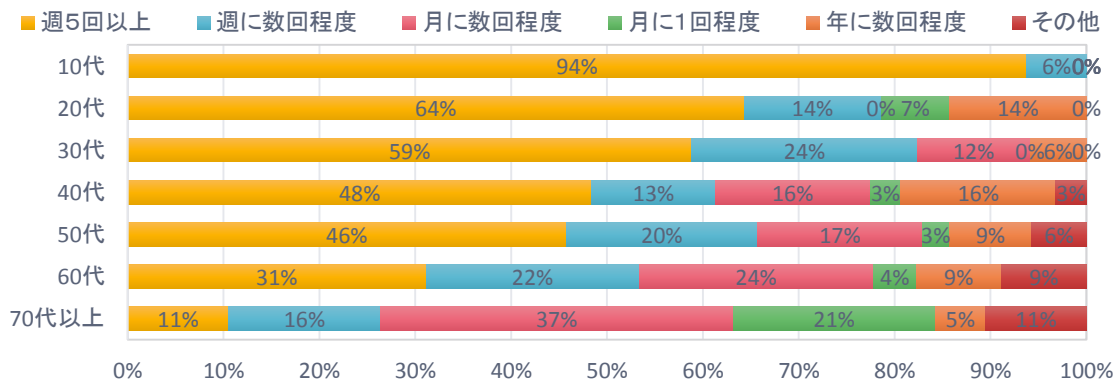
■駅までの主な交通手段（年齢別）



(3)：駅の利用頻度はどれくらいですか



■駅の利用頻度（年齢別）



◆その他 主な自由意見・要望等

・行田駅がより便利で、活気のある場所になると良い	
・古代蓮の里を見学し、非常に良かったが、バスの運行回数を増加、もしくは車両が大型化されると嬉しい	
・駅の中に月一回程度、行田市の名産品などを販売してほしい	
・駅前に歯医者や内科があると、仕事帰りに熊谷市内に行かずに済み、便利である	
・観光資源を最大限に活用した、特徴ある行田駅前開発をしてほしい	
・駅にコンビニエンスストア作っていただければ、毎日でも利用する	
・喫煙所を作って欲しい	
・北口方面には広い公園や子育て施設、小売店舗スーパーなどを充実させてほしい	
・北口のすぐ横にある大きな木に、クリスマスの時期には飾りつけをして、話題を作ってはどうか	
・駐輪場の有料化には反対	
・国道 17 号の歩道を自転車で利用しているが、緑地帯の整備されておらず、用水路も汚い	
・観光客の方に駅周辺の食事処を聞かれると、回答に困り、食事処が少なく不便であると感じた	
・郵便局の後ろの大きな木(ヒマラヤ杉)は残して欲しい	
・休憩所を作ってほしい	
・公共交通機関の整備として、都市部へのアクセスは重要である	
・駅前ロータリーを歩行者が平気で横断して危ない	
・岩崎電気南側の市営駐輪場について、帰宅時間(17 時～19 時くらい)は利用者が多く、駅から駐輪場まで歩く歩行者と、駐輪場から自転車に乗って帰る自転車が交差し、危険である	
・終電近くになるとタクシーの待機車両が少なく、1時間以上待つこともあり、不便である	
・JR行田駅を利用するうえで、駅前駐車場は大変便利であるため残してほしい	
・ベンチがあると良い	
・売店の開店日が少なく、閉店時間が早い	
・熊谷市と連携して、教育、文化、スポーツに力を入れてほしい	等